

令和5年11月9日

国土交通省関東地方整備局

関東技術事務所

第4回出展技術発表会を開催します

～建設技術展示館に展示している最新の技術をご紹介します～

令和5年12月6日（水）から令和5年12月7日（木）の2日間、第4回出展技術発表会を開催します。

出展技術発表会は、建設技術者の方々を主な対象に、公共工事に係る技術者の知識習得及び技術の普及を図ることを目的とし、第16期建設技術展示館の展示技術テーマ「防災 減災、国土強靱化、インフラ長寿命化技術」、「インフラ分野のDX技術」、「インフラ分野の脱炭素化・GX技術」の3つのテーマを中心に、出展者自らが発表するものです。

また、関東地方整備局の現場ニーズとのマッチングにて採択された、大学等の研究機関が持つ先端的な技術シーズを対象に、連携して早期の社会実装、実用化を目指す「大学等研究機関とのマッチング」での研究発表や関東地方整備局の施策について講演します。

- 日時：【1日目】令和5年12月6日（水）13時00分から16時20分まで
【2日目】令和5年12月7日（木）10時00分から15時40分まで
- 会場：さいたま新都心合同庁舎1号館2階講堂（埼玉県さいたま市中央区新都心1番地1）
会場定員：各日500名
- 内容：出展技術発表 発表者：13者（詳細は別紙をご覧ください。）
「大学等研究機関とのマッチング」研究発表 1者
講演：12月6日（水）関東地方整備局 防災室 防災室長 青木 孝夫
「関東地方整備局の防災対策の取り組みについて」

4. 応募方法

今回の出展技術発表会は会場での開催となります。オンライン配信はありませんのでぜひ会場にご来場ください。CPD、CPDSの認定を受ける予定です。聴講の応募方法は建設技術展示館ホームページよりご応募ください。ホームページは「建設技術展示館」で検索いただくか、別紙をご覧ください。

5. 取材について

取材についてはお手数ですが事前にご連絡いただけますようお願いいたします。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ 横浜海事記者クラブ
千葉県政記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 関東技術事務所

電話：047-389-5121（代表）メールアドレス：ktr-tenzi-info@mlit.go.jp

副所長 金澤 哲也（内線：791-205）

技術企画 人材育成課 技術情報管理官 角田 哲章（内線：791-303）

第16期 建設技術展示館

第4回

出展技術発表会

参加無料

「防災・減災、国土強靱化、インフラ長寿命化技術」
「インフラ分野のDX技術」、「インフラ分野の脱炭素化・GX技術」
3つのテーマを中心に
出展技術の発表をおこないます

関東地方整備局の現場ニーズとのマッチングにて採択された大学等の研究機関が持つ先端的な技術シーズを対象に、連携して技術研究開発を促進し、早期の社会実装・実用化を目指す「大学等研究機関とのマッチング」での研究発表も行います。

SCHEDULE

2023年12月6日(水)

13:00~16:20
(受付 12:15~)

12月7日(木)

10:00~15:40
(受付 9:15~)

さいたま新都心合同庁舎1号館 2F講堂 各日500名
(埼玉県さいたま市中央区新都心1番地1)

オンライン配信はありません。ぜひ会場にご来場ください。

CPD/CPDS 認定予定

申込期限

2023年11月27日(月) 12:00 まで

定員になり次第締切

申込方法

CPD/CPDS継続教育プログラムの単位取得は事前申込が必要

CPD/CPDS継続教育プログラムの単位取得

単位の取得希望の方は建設技術展示館HPの申込フォームより事前登録をお願いします。詳しくは建設技術展示HPをご覧ください。

他団体へ申請される方は他団体のルールに従っていただきます。なお、他団体のルールや運営方法については対応しかねます。

聴講者による録画・撮影等は一切禁止

建設技術展示館ホームページ

<https://www.kense-te.jp/>

【主催】



国土交通省 関東地方整備局
関東技術事務所

DX・i-Construction

【賛助】



一般社団法人 関東地域づくり協会

Kanto Regional Management Service Association



TIME SCHEDULE

A技術:「防災・減災、国土強靱化、インフラ長寿命化技術」

B技術:「インフラ分野のDX技術」

C技術:「インフラ分野の脱炭素化・GX技術」

| 日程 | 順番 | 時間 | 技術 No. | 出展者名 | 技術名 |
|------------------------------|-------------|-------------|----------|---------------------------------|--|
| 第4回 12月6日(水) 【さいたま新都心】 | 講演 | 13:00~13:30 | 講演 | 関東地方整備局 防災室長 青木 孝夫 | 「関東地方整備局の防災対策の取り組みについて」 |
| | 1 | 13:30~14:00 | A 20 | シバタ工業株式会社 | コンクリート構造物を摩耗や損傷から守る「ラバースチール」 |
| | 2 | 14:10~14:40 | B 16 | 日本キャタピラー合同会社 | キャタピラーDXソリューション |
| | 3 | 14:40~15:10 | A 22 | 一般社団法人コンクリートメンテナンス協会 | 亜硝酸リチウムを用いたコンクリート補修技術 |
| | 4 | 15:20~15:50 | B 17 | 株式会社小松製作所 | 油圧アタッチメントの交換を容易化する技術「油圧オートカブラ」 |
| 12月7日(木) 【さいたま新都心】 | 5 | 15:50~16:20 | A 13 | 株式会社エスイー | エスイーの防災・減災対策技術 |
| | 6 | 10:00~10:30 | A 24 | 日本道路株式会社 | アスファルト舗装の長寿命化技術「スーパーEPOアスコン」・「ウルトラパーブH」・「リフレッシュシールMix-H」 |
| | 7 | 10:30~11:00 | B 19 | 株式会社きんそく | 杭工事の施工精度向上支援システム「杭打キングPLUS」 |
| | 8 | 11:00~11:30 | A 25 | 一般社団法人循環式ハイブリッドブラストシステム工法協会 | 循環式ハイブリッドブラストシステム工法 |
| | 9 | 11:30~12:00 | B 20 | 一般社団法人日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 | 施工総研のインフラ分野のDX技術 |
| | 研究発表 | 13:00~13:30 | 研究発表 | 東京理科大学 創域理工学部 社会基盤工学科 教授 加藤 佳孝 | 「混和材大量使用締固めを必要とする高流動コンクリートの開発」 |
| | 10 | 13:30~14:00 | C 05 | 前田道路株式会社 | アスファルト合材の低炭素化「低炭素合材」 |
| | 11 | 14:10~14:40 | A 26 | 株式会社ナカボーテック | コンクリート中の鋼材の腐食防止技術 |
| | 12 | 14:40~15:10 | B 21 | 株式会社東洋スタビ | 河川盛土材料を製造する技術「STB-ICT粒度改良工法」 |
| 13 | 15:10~15:40 | A 27 | 小泉製麻株式会社 | 道路構造物の長寿命化を図る防食工法「NEac工法+Q-set」 | |

● 構内に駐車場はございません。公共交通機関でのご来場をお願いします。



Construction

発表技術の展示ブースは
QRコードからCHECK



建設技術展示館



国土交通省 関東地方整備局
関東技術事務所

DX・i-Construction

お問い合わせ

〒270-2218 千葉県松戸市五香西6-12-1
国土交通省 関東地方整備局 関東技術事務所

建設技術展示館事務局

[TEL] 047-394-6471

[H P] <https://www.kense-te.jp/>